

令和2年度第1回高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会会議録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和2年度第1回高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会
開 催 日 時	令和2年6月25日（木） 午後2時～午後3時30分まで
開 催 場 所	瓦町FLAG8階 健康ステーション大会議室
議 題	(1) 会長の選任について (2) 第8期高松市高齢者保健福祉計画の策定スケジュール等について (3) 第8期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果報告について (4) 指定地域密着型サービス事業所の指定等について (5) 令和2年度指定地域密着型サービス事業予定者の募集について (6) 地域包括支援センターの運営について (7) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	山下会長、虫本職務代理、石川委員、上田委員、植中委員、梅村委員、鎌野委員、喜田委員、小西委員、近藤委員、鈴木委員、田中(邦)委員、田中(克)委員、野上委員、萩池委員、古川委員、前田委員、松村委員、三瀬委員、元木委員
傍 聴 者	1人、報道0社
担 当 課 及 び 連 絡 先	長寿福祉課 087-839-2346 介護保険課 087-839-2326 地域包括支援センター 087-839-2811

審議経過及び審議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。
次のとおり、会議を開催した。

1 開会

健康福祉局長挨拶

会議を公開とすることを確認

2 議題

(1) 会長の選任について

高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長が選任された。

会長 山下委員

同要綱第7条の規定により、山下会長が議長を務める。

同要綱第6条第3項の規定により、山下会長が職務代理を指名する。

職務代理 虫本委員

- (2) 第8期高松市高齢者保健福祉計画の策定スケジュール等について（資料1）
資料1に基づき事務局から説明。
- (3) 第8期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果報告について（資料2）
資料2に基づき事務局から説明。
- (4) 指定地域密着型サービス事業所の指定等について（資料3）
資料3に基づき事務局から説明。
- (5) 令和2年度指定地域密着型サービス事業予定者の募集について（資料4）
資料4に基づき事務局から説明。
- (6) 地域包括支援センターの運営について（資料5）
資料5に基づき事務局から説明。
- (7) その他

意見及び質疑応答

A委員

<議題(2)、(3)について>

アンケートは昨年行ったものであるが、今は新型コロナが蔓延し、アフターコロナの時代においては、以前のような生活はできないと指摘され、生活様式が変わっていくだろうといわれている。外出自粛要請中には、高齢者への支援が直接的にはできず、孤立化が進み、支援が十分に行き届かない状況が全国的にあった。今後、コロナが完全に収束しても、何らかの形で、生活様式が変わっていく中で、社会状況の変化に対して、高齢者への支援をどのようにするのが、第8期の計画に必要なと思うが、どのように考えているのか聞きたい。

B委員

<議題(2)、(3)について>

コロナウイルスが、世界にどのような影響を及ぼすかは、模索中である。おそらく、従来のやり方では、うまくいかないと感じている。その都度、議論していかなければ、変化に合った対応ができないと思う。

C委員

<議題(3)について>

資料2のP8の高齢者が気軽に集える場所についてという設問で、コミュニティセンターが上位になっている。私も、コミュニティセンターを利用しているが、敷地が狭いところでは、2階等が活動スペースとなっており、エレベーターがないところでは、高齢者向けの行事があっても、参加できない人がいるのではないかと思う。今後、建て直しを検討する場合は、階段以外の移動手段も考えてほしい。また、P9の参加しない理由について、参加したくないからとある。人それぞれ参加したい行事は

違うので、交流の場に参加したほうが認知症予防にもなると思うが、それを嫌がる高齢者もいるため、行事を考えるのは難しいことだと感じる。

D 委員

<議題(3)について>

先ほどの話にもあったが、高齢者が増えており、コミュニティセンターの2階に上がれないというのは、確かだと思う。木太地区も昨年2月にコミュニティセンターが新しくなり、エレベーターが設置され、高齢者は喜んでいて、古くなった建物を新しくするときには、高齢者のニーズにも応えた設計をお願いしたい。

E 委員

<議題(3)について>

資料2の、のびのび元気体操について、せっかくいいものができたのに、認知度が低い。特に、コロナウイルスで外出ができない状況の中、家の中でできるものなので、認知度を上げて、積極的にしてもらえれば、高齢者も元気になるのではと思う。

F 委員

<議題(3)について>

資料2のP9について、参加しない理由の「きっかけがないから」というところで、男女比が気になる。介護予防事業をしていて、男性が来てくれないというのが、課題だと思う。男性が好むような、介護予防メニューや企画を研究、観察していく必要があると思う。今回のアンケートでその点について触れていないのであれば、次のアンケートで取り入れてほしい。

今回のコロナウイルスの件で、災害の時に情報が入らないということが分かった。安倍総理や小池都知事はよくメディアで情報を発信していたが、実際には、地元の大西市長のメッセージを生で聞きたいと思っていた。せっかく Facebook を開設しているので、YouTube 配信との連携もしてほしい。

これまでの、外出を促してきた時代と変わり、自宅にいてもらわなければいけないような時代となったため、市内の高齢者への IT の導入がどの程度進んでいるのか、アンケートを取ってほしいと思った。スマホ普及率や、パソコンがどの程度使えるのかといった情報があれば、遠隔で、体操してもらうなどが可能かもしれない。

F 委員

<議題(6)について>

資料5、P6の緊急一時保護事業について、この事業は、徘徊高齢者保護ネットワークのメールと関連しているものなのか。

事務局

<議題(6)について>

緊急一時保護については、すでに警察に保護されている状況で、引き取り手がない高齢者が対象となるようなイメージの事業である。

事務局

〈議題（２）について〉

最初に質問のあった件について、コロナウイルスの件で、地域の人が集まれない、直接会えない状態の中、長寿福祉課としても一人暮らしの高齢者が気になる状況である。民生委員に協力してもらい、声掛けや相談窓口のチラシを自宅ポストに投函してもらう等を行った一方で、高齢者居場所づくり事業については、３か月間の活動自粛を依頼していたところである。活動できなかった間の影響が考えられるが、そのあたりの実態が、今はまだ掴めていないので、第８期の計画策定については、実態を掴みながら、事業に反映していくなど取り組んでいかなければならないと思っている。新しい生活様式や、コロナウイルスがなかなか収束しない状況を見据えて、考慮しながら、計画を策定していく必要があると考えている。

B委員

〈全体について〉

従来どおり提供できなかったサービスについても、我々で知恵を出し合って議論していかなければいけないと思う。

3 閉会